

平成 23 年 9 月吉日

関係各位

八千代市サッカー協会
会長 若松 竜二

第 21 回コミュニティーワールドカップサッカーin 八千代開催の趣旨

コミュニティーワールドカップサッカーin 八千代は、様々な国および地域の中学生在がサッカーというスポーツを通じて、この八千代に集い交流を重ねるなかで、技能の向上は勿論のこと、互いの違いを知り、その違いを認めていこうとする態度や、互いを支え合い高めようとする心の涵養の機会となるよう実施してまいりました。第 21 回大会を迎えるにあたり、新たなる目標を打ち立て取り組んでいかなければならないと考えております。

折しもスポーツ基本法がこの 8 月 24 日に施行され、その前文に「スポーツは世界共通の人類の文化」と示されました。スポーツを文化として捉えその確立のために「スポーツの果たす役割」について探求していくことの重要性を認識し、実践していくことが私たちスポーツ指導者の責務であると考えております。

3 月 11 日に発生した東日本大震災においては、各界より国内外を問わず様々な支援の輪が広がり、スポーツ界においてもスポーツに携わる人々の温かさが被災地の皆様に心強いメッセージとして届いていることは報道等により周知のことであり、スポーツの持つ役割の一面を伺うことができました。しかし復興に向けては、長い年月がかかることは誰の目で見ても明らかです。故に、中学生たちが復興の中核となっていくことは間違いのないところでございます。

以上のようなことから、今年は、北は北海道、南は沖縄、海外からは大韓民国仁川市選抜そして、被災地のチームを招待しての交流を計画しました。大会を通じて、被災地の現状を広く知る機会とするとともに復興へ向けて、これからの社会を担い社会へ貢献していく姿勢を育む場としていきたいと考えております。

また、スポーツには様々なつながりを作り出す力があります。八千代市民の皆様におかれましても、故郷のチームの応援・支援を通じて「ふるさと」を心に共有する人と人とのつながりができ、新たなコミュニティーを築いていただけることと思います。そのことが、文化としてのスポーツの発展に寄与するものと確信しております。

何卒、趣旨をご理解いただき、東北各県ご出身の皆様はじめ、多くの皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。